

時流を捉え、 世のため人のためとなる 革新的な事業を創造

SBIグループの創業当時は「インターネット革命」と「金融の規制緩和」という2つの大きな時代の潮流がありました。これらは経済や金融のあり方、顧客のライフスタイルやニーズの変化に大きな影響を与えました。SBIグループはその流れに乗り、消費者により高い便益性をもたらす金融サービスを多岐にわたって展開することで成長を加速させてきました。一方、SBIグループでは創業以来、企業は社会の一構成要素であり、社会に帰属しているからこそ存続できるという考えのもと、社会の維持・発展に貢献することを目指してきました。このように常に時流を捉え、革新的な事業を創造し、世のため人のためとなるということが創業時からの私たちの想いです。



BELIEF 社徳



SBIグループでは、人に徳があるように企業にも「社徳」があり、仁徳のある人が周囲から尊敬されるように、企業も徳性を高めることで社会から尊敬されるものと考えています。企業活動はいうまでもなく人間の営みであり、社会から受ける評価の全てに最も大きな影響を与えるのは、経営トップをはじめ各社員の生き方です。そのためSBIグループでは、役職員全員の徳性を高めることが、「社徳」を高め社会から尊敬される会社になるための必須条件であると考えており、グループ人材の育成に注力しています。

MISSION

SBIグループ 5つの経営理念



- 01 正しい倫理的価値観を持つ**
「法律に触れないか」、「儲かるか」ではなく、それをすることが社会正義に照らして正しいかどうかを判断基準として事業を行う。
- 02 金融イノベーターたれ**
従来の金融のあり方に変革を与え、インターネットの持つ爆発的な価格破壊力を利用し、より顧客の便益を高める金融サービスを開発する。
- 03 新産業クリエイターを目指す**
21世紀の中核的産業の創造および育成を担うリーディング・カンパニーとなる。
- 04 セルフエボリューションの継続**
経済環境の変化に柔軟に適應する組織を形成し、「創意工夫」と「自己変革」を組織のDNAとして組み込んだ自己進化していく企業であり続ける。
- 05 社会的責任を全うする**
SBIグループ各社は、社会の一構成要素としての社会性を認識し、さまざまなステークホルダー（利害関係者）の要請に応えながら、社会の維持・発展に貢献していく。

0.0

OUR BEGINNING

CULTURE

企業文化のDNA



どのような事業環境においても、SBIグループが継承するべきだと考えている企業文化のDNAが4つあります。それは、失敗を恐れず常に新しいことにチャレンジし続けるために「起業家精神を持ち続けること」、常に迅速な意思決定と行動をする「スピード重視」、過去の成功体験に捉われず創造的精神を発揮しつづけるために「イノベーションを促進すること」、環境の変化を敏感に察知し、柔軟に適應して「自己進化し続けること」です。これら4つのDNAを踏まえた企業文化を構築し、継承していくことで、持続的に成長する強い企業グループが維持されると考えています。



創業時に思い描いた ビジネスモデルを確立、 革新が飛躍をもたらす

SBIグループでは、創業時に描いた構想を具現化することで飛躍的な成長を実現してきました。金融サービス事業においては、企業生態系というコンセプトのもとインターネットをメインチャネルとしたユニークな金融生態系を約16年かけて世界で初めて構築しました。アセットマネジメント事業においては、IT分野やバイオテクノロジー分野といった21世紀の成長産業への注力投資をグローバルに進め、プライベート・エクイティ投資に係る運用規模は3,000億円程度まで拡大しています。またバイオテクノロジー分野においては、業績が景気動向に左右されにくく、高い成長率が見込めることから、2007年に自らもバイオ関連事業に進出し、SBIグループの主要事業の1つとして育成しています。

CONCEPT

企業生態系

SBIグループでは、「全体は部分の総和以上である」「全体には部分に見られない新しい性質がある」という「複雑系の科学」の二大命題をもとに、単一の企業では成し得ない相乗効果と相互進化による高い成長ポテンシャルを実現すべく、新しい組織形態「企業生態系」の構築を目指してきました。企業生態系とは、互いに作用しあう組織や個人の基盤によって支えられた経済共同体のことを指しています。インターネット時代における競争優位性を発揮するためには、このような組織形態の構築が必要と考え、証券・銀行・保険を金融サービス事業の3大コア事業とする「インターネット金融生態系」を構築し、飛躍的な成長を遂げてきました。



顧客中心主義

PRINCIPLE

昨今、日本の金融機関は金融行政により「顧客本位の業務運営」の確立が求められていますが、SBIグループでは創業以来、何よりもまず顧客利益を最優先する価値観である「顧客中心主義」を掲げ、徹底的に実践してきました。証券事業では株式委託売買における手数料の価格破壊を実現し、銀行事業では好金利の預金商品などを提供、また保険事業においても業界最低水準の保険料を実現するなど、インターネットを活用して突出した価格競争力を持つ商品・サービスを提供してきました。価格面に加え、多様化するお客様のニーズに合わせた商品の拡充や、ネットとリアル店舗の融合にも努めた結果、グループ顧客基盤は2,200万件程度と順調に拡大しているほか、外部の各種顧客満足度調査においても高い評価をいただいています。

STRATEGY

相乗効果と相互進化

SBIグループでは、企業生態系の中での相乗効果と相互進化を徹底的に追求してきました。まず、金融サービス事業の3大コア事業と位置付ける証券・銀行・保険をサポートする関連企業群を形成し、相互にシナジーを発揮することで、それぞれ発展を遂げてきました。また、コア事業間においても相互送客やサービス連携を通じてシナジーを実現しています。さらには事業セグメントを超えて金融サービス事業とアセットマネジメント事業やバイオ関連事業など各事業間においてもシナジーを発揮させています。例えば、ITやバイオテクノロジーの分野へ投資しながら自らも同分野で事業を展開していることで、投資先企業の知見やノウハウを自社でも活用できるとともに、自社の知見を活用することで適切な投資が行えるなど、好循環を描くシナジーを発揮しています。

1.0

LEAPING FORWARD

MEASURE

選択と集中

収益性を重視する経営へ転換するべく、SBIグループでは2011年3月期から事業の「選択と集中」を徹底してきました。具体的には、金融サービス事業における3大コア事業とのシナジーが弱い不動産をはじめとするノンコア事業の売却や、シナジーをより発揮しやすい形へのグループ内での組織再編などです。そこで創出したキャッシュをはじめとするグループのリソースを、主要3事業である金融サービス事業、アセットマネジメント事業、バイオ関連事業に集中的に投入することで、赤字事業の早期黒字化や黒字事業のさらなる利益拡大といったグループ全体の収益性強化を実現してきました。

可能性を秘めたFinTechと バイオテクノロジー分野で 持続的成長を目指す

現在、革新的な技術開発が世界的に進展しているFinTech等の分野は、創業時以上の大きな潮流となる可能性を秘めています。また、人々の健康意識が高まる中で、健康長寿社会の実現は人類の大きな願いのひとつであり、バイオテクノロジーの進化は大きな期待が持たれています。SBIグループは、このような社会の新たな潮流をいち早く取り込み、これまで同様「顧客中心主義」を事業の中心に据え、未来に継承すべき企業理念やDNAを再認識しながら、それぞれの事業における持続的成長の実現に向けて挑戦を続けます。SBIグループは常に新たな価値を創出し続けることで、社会の維持・発展に貢献します。

CONTRIBUTION

ALA (アラ)

5-アミノレブリン酸(ALA)は、全ての生物の体内に存在する天然のアミノ酸で、タンパク質の原料となる生命の根源物質です。ALAは、既にSBIグループの健康食品・化粧品の成分として使用されています。SBIファーマでは2013年9月にALAを使用した術中診断薬として医薬品の第1号を発売しました。その他にも、多様な疾患の治療に向けた医薬品の基礎研究が進展しており、ALAの生理機能の解明と多岐にわたる分野への応用は世界的に大きな注目を集めています。SBIグループでは、そのALAを利用した製品の研究開発から製造、販売までの一貫体制を構築しています。



2.0

EVOLVING
TO THE FUTURE



OPPORTUNITY

FinTech

FinTechという言葉が意味するのは、証券・銀行・保険といった従来からある金融サービス業のインターネット化ではなく、金融サービスの新たなソリューションです。現在、世界中で非金融分野のベンチャー企業が、ローン、資産管理、送金、資金運用といった様々な金融分野に進出し、急成長を遂げています。こうしたベンチャー企業の持つブロックチェーン、AI、ビッグデータ、IoT、ロボティクスといった要素技術やそれらのコンビネーションが金融業において次第に利用され始めています。SBIグループでは各事業においてさらなる顧客利便性の向上やサービスの独自性を追求するべく、FinTech分野における新技術のいち早い導入を推進しています。



INITIATIVE

新FinTech生態系

これまでSBIグループは、インターネット金融生態系を構築することでグループの飛躍的成長を実現してきました。この金融生態系をFinTechの初期段階であるFinTech 1.0と捉え、今後はブロックチェーンを中核とする新しい金融生態系 (FinTech 2.0) への進化を目指します。ブロックチェーンはインターネット上でグローバルな価値の交換を可能にする革新的な技術です。SBIグループではブロックチェーンを使用した実証実験を様々な金融サービスで実施するとともに、ブロックチェーンや仮想通貨の活用にはグローバルスタンダードを意識し、世界の主要なパートナーと協働して実用化を進めていきます。



DIFFERENTIATION

ネットワーク価値

インターネット時代において、企業は単なる「価格」や商品・サービスの「品質」といった価値の訴求だけでは不十分で、情報・財・サービスを複合的に顧客へ提供する「ネットワーク価値」の創出が要求されます。SBIグループは、創業時からグループ内企業の連携を通じ「ネットワーク価値」という付加価値の創出に努めてきました。今後はネットとリアルの両側面からグループ外企業とのアライアンスを強化し、グループ顧客のみならず、グループ外顧客に向けても付加価値を創造することで「ネットワーク価値」をさらに拡大させます。中でも地域金融機関との提携を強化し、SBIグループの経営資源を最大限活用してもらい、地域金融機関とともに栄え、ひいては地方創生に寄与することを目指します。

